

基本理念：「より良い未来を築く 持続可能な行財政運営の実現」

第5次大綱に掲げる基本理念に基づき、
「持続可能な財政基盤の確立」「市民ニーズ・行政課題に即応したサービスの提供」「しなやかで機動的な組織・人材の育成」
に資する具体的な取組を示した実施計画

計画期間：令和7年度～令和11年度（5年間）

1. 主な目標

目標 1

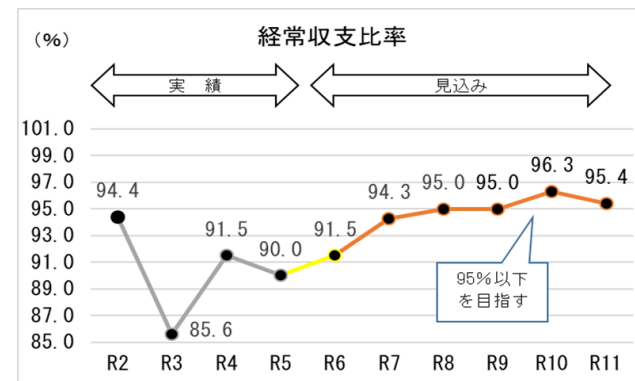
財政調整基金残高 毎年20億円以上
財政調整基金以外の基金残高 毎年20億円以上 を確保します。

財源不足や災害発生などに備えて積み立てる財政調整基金を毎年20億円以上確保するとともに、それ以外の基金の目的に沿った将来にわたる事業の実施に備えるため、財政調整基金以外の基金についても毎年20億円以上を確保し、財政基盤の安定化を推進します。

目標 2

経常収支比率について、令和11年度末まで95%以下を維持します。

人口減少による歳入の減少や、労務費の上昇、物価高騰の影響などから今後の財政状況は厳しさを増すことが予見されています。その中でも経常経費の抑制に努め、プランの計画期間内は95%以下を維持するよう、歳入確保と歳出削減に取り組めます。



プランを反映した中期財政収支における経常収支比率

2. 重点戦略

5年間で特に重点的に取り組むべき戦略事項として、以下の3つを設定し、課題解決につながる取組を実施していきます。

スマート自治体の推進

市民の利便性向上と業務の効率化を図るため、DX活用に取り組めます。

公共施設等ファシリティマネジメントの推進

公共施設の総合的な調整を図りながら、計画的・効率的な更新や利活用を進めます。

組織・執行体制の強化と効率的な人員配置

職員の意識向上を図りながら、力を最大限に発揮できる組織の強化を目指します。

基本方針 1

推進すべき事業に必要な予算が振り分けられる仕組みの構築や事業の廃止・見直しの基準作成、医療費等の適正化に取り組むことにより、一般財源の縮減を目指します。

また、特別会計や公営企業の健全経営、安定した自主財源の確保にも努め、将来にわたって持続可能な財政基盤を確立します。

持続可能な財政基盤の確立

取組項目	推進項目	推進項目指標	No.	実施項目	主な実施内容
健全財政の推進	最適な予算配分の実現	事務事業及び繰出金の一般財源縮減額 【R11目標】 75,788千円	1	施策と予算の連動	・総合計画の施策に沿った予算配分の仕組みの構築 ・新規事業実施基準の作成
	行政課題に即した事務事業の展開		2	事務事業評価に基づく最適な事業展開	・事業の廃止や見直し基準の作成 ・現行の事務事業評価の再構築
			3	健康づくりの推進による医療費・介護給付費の適正化	・健康意識を高め、行動変容につなげる取組実施 ・市内事業所等との連携強化による健康増進対策
	市債残高の適正管理	現債高倍率 【R11目標】 160%以内	4	公債費の平準化	・財政規律ガイドラインに定める市債発行額の遵守 ・繰上償還の検討
			5	普通建設事業の適正管理とコスト縮減	・企画段階からのチェック機能強化のための仕組みの構築
特別会計の財政安定化と公営企業の健全経営	健全な特別会計・公営企業の維持	繰出金総額 【R11目標】 1,106,204千円	6	国民健康保険事業の財政安定化	・国保税率の県内統一に向けた税率改正の検討 ・国保基金の活用方法の検討
			7	山香病院の健全経営	・地域の医療機関等との連携強化 ・収益増加やコスト縮減のための取組実施
			8	水道事業の健全経営	・水道施設の計画的な更新による事業費の平準化 ・水道料金改定のための検証
			9	下水道事業の健全経営	・下水道施設の計画的な更新による事業費の平準化 ・下水道使用料改定のための検証
安定的な財政運営のための歳入確保	自主財源の確保	歳入増加額 【R11目標】 40,266千円	10	市税収納及び未収金対策の推進	・早期財産調査等による徴収対策の強化 ・滞納整理の推進
			11	ふるさと納税の推進	・ニーズやトレンドを踏まえた特産品の開発・増産等 ・効果的な広報活動の実施
			12	基金の効率的な運用	・市場動向等に応じた債券運用の検討・実施

基本方針 2

D Xの活用や多様な主体との連携を図ることで、市民ニーズに合ったサービスの提供やサービスの拡充を図ります。
また、公共施設等の総合的なマネジメントを進めることで、必要な施設やインフラに財源を配分し、市民の安全・安心の確保と効率的な施設利用を推進します。
広報にも戦略的に取り組み、市内外へ必要な情報を効果的に発信していきます。

市民ニーズ・行政課題に即応したサービスの提供

取組項目	推進項目	推進項目指標	No.	実施項目	主な実施内容
行政サービスの高度化・デジタル化	行政サービスの拡充・利便性向上	電子行政サービスを利用したことがある市民の割合 【R11目標】 70%	13	D Xによる行政サービスの向上	・「D X推進計画」の策定 ・市民ニーズに応じたオンライン申請の推進 ・デジタル技術に不安感を持つ市民への対策
		行政サービスが拡充した・利便性が向上したと感じる市民の割合 【R11目標】 60%	14	行政サービスの向上と多様な主体との連携等による高度化	・窓口の届出様式等の見直し ・自治協やN P O等との連携による地域課題の早期解決
公共施設等マネジメントの推進	ファシリティマネジメント等の推進	行政財産の延べ床面積削減割合 【R11目標】 5%	15	ファシリティマネジメント等推進体制の構築と利活用方針等の策定・推進	・公共施設等マネジメント推進委員会の役割強化 ・公共施設における「利活用方針」、インフラ施設における「アセットマネジメント推進計画」の策定・実施
			16	公共施設等の効率運営・利活用と官民連携による行政サービスの向上	・支出抑制や財源確保のための施設実態調査 ・P P P・P F Iの導入検討と「P F I手順書」の策定
戦略的広報の推進	市政情報の戦略的発信	市政情報の発信状況に対して不満を感じている市民の割合 【R11目標】 防災、健康、市政等8分野における全平均5%	17	広報機能の強化と広報力の向上	・「広報戦略」の策定 ・広報意識向上のための研修や体制の強化 ・効果的な広報媒体の検証・見直し

基本方針 3

組織として効果的な施策の実現ができるよう、組織体制の見直しや適正人員による効率配置等に努めることで組織力の強化を図るとともに、市が求める人材像を明確にして人材育成を行うことで職員力の強化を図ります。また、未来を見据えた行政運営を実現するため、必要な分野でD Xを活用した業務の効率化や既存手法等の見直しを進めます。

しなやかで機動的な組織・人材の育成

取組項目	推進項目	推進項目指標	No.	実施項目	主な実施内容
組織力・職員力の向上	効率的で柔軟な人員配置	職員アンケート「自らの職場には活気があると感じている」と回答した職員の割合【R11目標】90%	18	組織体制の見直し	・係の機能強化のための体制の見直し ・部署間の連携の推進
			19	効率的な人員配置	・役職等の役割の明確化による効率的な人員配置 ・会任を含めた適正人員の把握
	実現性を高める組織・執行体制の強化	20	実行力のある組織マネジメントの確立	・管理職向け研修等の実施 ・組織内の積極的な課題共有による業務の円滑化	
	職員の人材育成と意識改革	職員アンケート「仕事にやりがいを感じる」と回答した職員の割合【R11目標】90%	21	人材育成基本方針に基づく職員力の強化	・市が求める職員像の明確化 ・職員のキャリア形成に資する研修等の支援 ・D X人材の育成
			22	職員の課題意識とチャレンジ意欲の向上	・チャレンジ意欲を高める取組の見直し・実施 ・貢献意欲（エンゲージメント）の可視化を通じた取組
	業務効率化・高度化の推進	既存業務の効率化・高度化	時間外勤務 月8時間以内を達成できた職員の割合【R11目標】75%	23	既存業務手法等の見直しによる業務効率化
24				D Xを活用した庁内業務の効率化・高度化	・会計事務等の電子決裁の導入 ・R P A（自動化システム）、A I（人工知能）等の活用
働き方改革の推進	ワークライフバランスの向上	職員アンケート「自らの職場において、仕事とプライベートの適切な配分（ワークライフバランス）が意識されている」と回答した職員の割合【R11目標】90%	25	働きやすい職場の実現	・勤務時間のインターバル化等の導入検討 ・必要な休暇を取得しやすい環境づくり

